美術講座プレミアム

受講生募集!

応募締切: 2023年9月19日(火) 必着

芸術の世界を様々な角度から探索するプレミアムな講座

美術史や歴史・文学に携わる研究者などを講師にお招きし 多彩な芸術の世界をじっくりと学びます。

プレミアム講座 全5回

- ◆ 日 程 9月28日、10月5日、10月12日、10月26日、11月9日 (木曜日)
- ◆時間 10:00~11:30
- ◆会場 北海道立近代美術館 講堂 (札幌市中央区北1西17)
- ◆ 定 員 230名
- ◆ **受講料** 3,500円 (アルテピア会員の方は3,000円)

(受講料は一括払いです。講座ごとの分割払いは受け付けておりません。)

- ▶ 講座内容は、裏面をご覧ください。
- ▶ 第1回講義終了後、「揺さぶる絵」の鑑賞があります。
- ▶ 道民カレッジに講座情報を登録しています。
- ▶ 感染防止対策を講じています。

申込方法:ホームページまたは往復はがき

▶ ホームページ: 下記URLまたはQRコードから申し込みください。

▶ 往復はがき:「往信」に 受講希望・氏名(ふりがな)・年齢・性別・郵便番号・住所

電話番号・アルテピア会員の方はアルテピア会員番号

「返信」に 郵便番号・住所・氏名をお書きください。

(お預かりした個人情報は、美術講座プレミアム以外に使用することはありません。)

- *受講決定の可否は、9月26日(火)までにお知らせします。
- *受講料は、講座第1回目9月28日(木)に申し受けます。

申込・問合せ先

〒060-0003 札幌市中央区北3条西18丁目2-7 新田ビル2 F 一般社団法人 北海道美術館協力会(愛称アルテピア) 電話 011-644-4025

HP http://www.artepia.or.jp E-mail oubo@artepia.or.jp

主催 一般社団法人北海道美術館協力会

共催 北海道立近代美術館 北海道立三岸好太郎美術館

後援 札幌市 札幌市教育委員会



美術講座プレミアム 2023

講師×講演テーマ

第1回9月28日(木)

戦後日本の美術

土岐美由紀

(北海道立近代美術館学芸統括官)

揺さぶる絵 +展覧会鑑賞(当日) - 変貌する日本画のイメージ

繊細な日本画のイメージは、戦後、独自の眼ざし や表現手法で描かれた作品の登場により変貌し ます。見る者の心ばかりか、日本画の枠組みその ものさえ揺さぶる大作の数々を紹介。中村正義 や片岡球子などから21世紀以降の作品まで、講 話と展覧会鑑賞を併せてお楽しみいただきます。

第2回10月5日(木)

近世日本の美術

第3回10月12日(木)

北海道の彫刻・文化

新明英仁

(文学博士·前市立」/樽美術館長)

日本美術に見る妖怪表現 -近世美術を中心に(ちょこっと文学+)

古来、人々の関心事であった妖怪、幽霊、もののけなどの不思議な世界は、江戸時代には浮世絵の普及もあいまって大きなブームとなりました。 その魅力と特色を、葛飾北斎、歌川国芳、月岡芳年などの浮世絵を中心に、読本・黄表紙など近世文学との関わりも絡めてご紹介いただきます。

小沢信行

(フリーライター)

北の銅像誕生秘話

昨年『こうしてできた北の銅像』を著した小沢信行さん。本郷新の石川啄木像、小寺真知子の土方歳三像のように、彫刻家の中には歴史上の人物に魅せられ、銅像を何種類も制作した人がいます。北海道の銅像建設に情熱を注いだ制作者や発案者のエピソードについてお話しいただきます。

第4回 10月26日(木)

西洋の美術

第5回 11月9日(木)

縄文文化

山田のぞみ

(札幌芸術の森美術館学芸員)

ベラスケスの芸術 – 交錯する絵画と現実

17世紀スペインの宮廷画家、ディエゴ・ベラスケス(1599-1660)は豊かな宮廷絵画コレクションと刺激的なイタリア旅行での経験を糧に、一風変わった肖像画や神話画を手がけます。理想化して描かれることの多かった絵画に、「現実」の表現を巧みに取り入れたベラスケスの革新性についてお話しいただきます。

阿部千春

(北海道環境生活部文化局文化振興課 縄文世界遺産推進室特別研究員)

北海道・北東北の縄文遺跡群の魅力

今から約1万5千年前に築かれ、自然と人間が共生しながら約1万年もの長きにわたって営まれ、高度に発達・成熟した縄文文化。世界遺産に登録された北海道・北東北の縄文遺跡群の普遍的価値と各地の遺跡の魅力について、登録に尽力してきた研究者・阿部千春さんにご紹介いただきます。

*講座日程・内容が、都合により変更になる場合もありますので予めご了承ください。